

## 施設長より新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。  
 昨年は、感染対策へ感謝申し上げますとともに、ご協力賜り、誠にありがとうございました。  
 依然としてこの地域でも新規感染者が多い中ではございますが、可能な限り面会を継続し、ご家族で過ごしていただけるよう、スタッフ一同、お待ち申し上げます。  
 今後、春に向けて暖くなり、感染者が落ち着いた折には、コロナ前のように買い物や、喫茶、散髪、食事、ご自宅へと気軽に外出でき、制限のない生き生きとした暮らしを送っていただける日々を待ち望んでおります。  
 不安や恐れより、期待や希望を胸に暮らしていきたい、そうすると信じ、新年を想念しました。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



## 年男・年女さんに聞きました

### 新年あけましておめでとうございます

今月のすずの郷新聞は、毎年恒例の『年男・年女さんに聞きました』うさぎ年の入居者さん、スタッフに『今年の抱負』について聞きました。皆様が、うさぎのようにピョンと大きく飛躍されることをお祈りしています。

### 北野淑子さん

元気で、母らしく穏やかに過ごしてほしいです。

北野淑子さん  
娘さんより



### 西尾恵美子さん

瀬戸にいる妹に会いに行つて、何十年振りかにいっぱいお話したい!!  
 あとは、練習してシルバーカーで歩けるようになりたいです!!



### 近藤美加

昨年末から始めた編み物。思い切って、教室にも通い始めました。通ってみる生徒さんは、70代、80代の方々。皆さん自分で編まれた素敵なセーターを着ておられ、プロ級です。私の目標は『続けること』そして、すずの郷のお年寄りに可愛いストール、膝掛けをプレゼント出来るまで上達したいです。

### 鄭淑卿

うさぎ年には、跳ね上がるという意味があり『飛躍』と『向上』の年と言われています。今年は、すずの郷に入社して2年目になります。どんなに小さいことでも先輩に聞いたり、資料を探しながら介護の基本的な知識とスキルを身に着けたいと思っています。お年寄りには自分から声を掛け、コミュニケーションを図り、お年寄りの言葉には耳を傾け、傾聴します。お年寄りの1日1日を大切にしながら、自分の健康管理もしっかりと行い、平穏な心でお年寄りと向き合いたいです。

### 田口由紀子

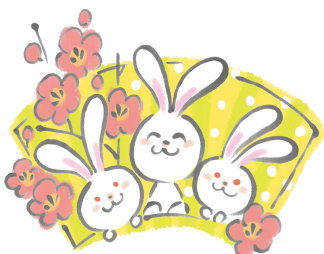
自分のペースと跳躍力でピョンと頑張ります。勢いよく走っている時もあれば立ち止まっている時もあるうさぎのように、自分のペースと跳躍力で、穏やかに跳んでいきたいなあと思っています。

### 小南友華

昨年は家族の体調不良が続き、健康の有難みを改めて実感した1年でした。ですので、今年はありきたりではありますが…健康第一!!  
 そのために、早寝早起きを心掛けます。

### 日比野峰子

新年あけましておめでとうございます。本年も元気で、頑張ることができたら充分です。皆さま今年も、仲良くしてくださいね。



### 今月のベストショット

クリスマス寒波で雪が降った12月24日の朝。「雪を見に行きますか？」とお誘いすると満面の笑みで「行こか!!」と言われた渡辺久子さん。2階のベランダの雪を触って「わっ!!冷たい」と言いながら真っ白な雪景色を眺めておられました。



### 宇佐美秀雄

健康で過ごせますように







年末恒例の餅つき。  
今年の初打ちは、施設長の力強いパフォーマンスによってスタートしました。「よいしょ〜!よいしょ〜!」と賑やかな声が響き渡ります。

森本治郎さんは、大きな掛け声を掛けて下さり、会場を盛り上げて下さいました。楳村和子さんは、つき手と返し手を1人2役と大活躍!!

その他にも、お年寄りの皆さんには、一人一人順番に杵を持っていたくことができ、自然と笑みが溢れていました。

皆でついた6升のお餅はあっという間に出来上がりました。つきたての餅は、丸め係のお年寄りの皆さんが、鏡餅、おやつ用の餅も丸めて下さりましたがその手つきは手慣れたもの。早速、全ユニットのお年寄りの皆さんの元へと、あんこ、きなこ餅が届き、美味しく召し上がっていただくことができました。今年も良い1年になりますように。(武山奈央)



たり、時には笑えないこともあるけれど、それを笑って楽しめた方が人生は幸せになれるということをお年寄りから教わりました。

【今年は感動できる介護】を選択していきたいです。

これからは私はずすの郷のお年寄りスタッフと共に、毎日笑ったり、泣いたり、そして時には怒ったりしながらも、今を一番輝くために、0歳の赤ちゃんから、百歳のお年寄りと一緒に暮らしていきます。

(濱嶋いづみ)



「すずの郷に来てよかった」そんなお言葉に幾度となく心が温かくなります。ゆつくり肩までお風呂に浸かってお話しをしたり、大好物をお腹いっぱい食べたり、お年寄りのそんな笑顔が私は一番好きです。何度経験しても辛いのはお別れです。心にぽっかり穴が空いたようになり、会いたくてももう会えない寂しさは計り知れません。しかし、お一人お一人、私にとって唯一無二の存在です。お年寄りからいただく優しさや、愛や、温かさは私の心にずっと残り続けます。介護のお仕事を通して「人から与えられた感動は心の中に生き続ける」ことが分かりました。そうすると自然に今私は何を大切にしたいのか、どう生きたいのか、が明確になっていきました。それを教えてくれたのもずすの郷のお年寄りです。「人の価値はどんな仕事に従事するかによって決まるのではない、その仕事にどう取り組むかによって決まる」のだと、私自身、二十年もの間、介護のお仕事を続けてこられたのはなぜだろう?と考えていましたが、人生の学びが大きいからです。笑顔の人の周りには笑顔の人が集まり、私も自然と笑顔でいたい、日々感謝の気持ちを大切にしよう!と思うようになりました。私は日々尊敬できる方々に囲まれています。コロナ禍でそれまでは考えられなかったような外出の制限、面会の制限を強いられ、いつまでも続くのかわからない不安に、心が折れそうになることもありました。それでも笑顔で楽しいことを考えていると、楽しい出来事が起こるようになって

## 介護の仕事とは

「すずの郷に来てよかった」そんなお言葉に幾度となく心が温かくなります。ゆつくり肩までお風呂に浸かってお話しをしたり、大好物をお腹いっぱい食べたり、お年寄りのそんな笑顔が私は一番好きです。何度経験しても辛いのはお別れです。心にぽっかり穴が空いたようになり、会いたくてももう会えない寂しさは計り知れません。しかし、お一人お一人、私にとって唯一無二の存在です。お年寄りからいただく優しさや、愛や、温かさは私の心にずっと残り続けます。介護のお仕事を通して「人から与えられた感動は心の中に生き続ける」ことが分かりました。そうすると自然に今私は何を大切にしたいのか、どう生きたいのか、が明確になっていきました。それを教えてくれたのもずすの郷のお年寄りです。「人の価値はどんな仕事に従事するかによって決まるのではない、その仕事にどう取り組むかによって決まる」のだと、私自身、二十年もの間、介護のお仕事を続けてこられたのはなぜだろう?と考えていましたが、人生の学びが大きいからです。笑顔の人の周りには笑顔の人が集まり、私も自然と笑顔でいたい、日々感謝の気持ちを大切にしよう!と思うようになりました。私は日々尊敬できる方々に囲まれています。コロナ禍でそれまでは考えられなかったような外出の制限、面会の制限を強いられ、いつまでも続くのかわからない不安に、心が折れそうになることもありました。それでも笑顔で楽しいことを考えていると、楽しい出来事が起こるようになって

毎年恒例だった、小中学校との交流会や職業体験もコロナ禍で延期や中止となりましたが、昨年末、直接学校へお邪魔し「仕事とは」をテーマにお話しをさせていただく機会を与えられました。介護というお仕事を通して多くを学び、成長できたこと等を中学1、2年生の皆さんへお話しでき、お年寄りの皆さんへ改めて感謝の目となりました。

## すずの郷16年目を迎え 改めて『すずの郷の理念』について

これまで経験したことを通じて、自分自身さらにステップアップをしていき、入居者様にすずの郷に入ってよかった、すずの郷のスタッフに出会えてよかったと思っ

て頂けるようにこれからも頑張ろうと思います。

また、僕は昨年、ユニットリーダー研修を受講しました。研修を通じて、入居者様にとつての最善の生活とは何か、その方の望まれることは何か、スタッフはそれに応えられているのかなど皆さんの自問自答がありました。仕事との向き合い方、入居者様との向き合い方について初心に戻り、考え直すことができました。

11月には入居者様、スタッフでコロナウイルスの感染者が発生しました。これ以上感染が拡大しないように全職員が一致団結して対応にあたりました。そのお陰で入居者様も回復に向かい、平穏な日常に戻りつつあります。大変なこともたくさんありましたが、この困難を乗り越えられたことは僕自身の貴重な経験となりました。いつも通りの笑顔溢れる日常のありがたさを改めて実感しました。

くため、その時の気持ちを大切にします」です。焼き芋とマグロが好物なお年寄りは、ご家族様からの差し入れを美味しく召し上がられます。そんな生き生きとしたお姿に僕自身がエネルギーをもらいます。また「五平餅が食べたい」という長野県出身のお年寄りと一緒にクルミを磨り潰して五平餅を作り、おふくろの味を再現できた時は、とびきりの笑顔を見せていただけました。スタッフ一同、日々お年寄りに支えられていると感じます。



祖父江智哉  
(入社3年目)

僕は福祉系の大学を卒業後、新卒ですずの郷に入社しました。すずの郷の方針は「お年寄りの限りある人生を限りなく自由に過ごしていただく